

かほく市土砂災害 ハザードマップ



『土砂災害ハザードマップ』とは

このマップは、土砂災害時に避難する場所や注意すべき箇所をまとめたものです。「自宅の最寄りの避難場所はどこなのか?」「災害時に危険となる場所はどこなのか?」を確認しておきましょう。

また、災害は何時に発生するか分かりません。いざという時に、落ち着いて行動出来るように、このマップを使って家庭や地域で話し合ってみてください。

わが家の避難施設	
緊急連絡先	
連絡先	電話番号

〈オリジナルマップ〉 自宅から避難施設までの経路を書いてみましょう。

NTT 災害用伝言ダイヤル 171
音声が流れますので、音声に従ってご利用ください。

大きな災害のときは、災害用伝言ダイヤルが利用できます。家族や知人の安否の確認連絡に活用できます。一般加入電話、公衆電話、携帯電話、PHS(共に一部事業者を除く)からご利用になれます。

《お問い合わせ》
〒929-1195
石川県かほく市宇野気二81番地
TEL: 076-283-1111(代表)
FAX: 076-283-1115
かほく市
平成24年3月作成

避難の心得

避難前の心得

準備



すぐに避難できるように、最低限必要なものを早めに用意しておきましょう。

確認



家族でよく知った避難コースを使った避難場所への行き方を確認しましょう。

注意



ラジオ、テレビなどで情報を確認し、危険を感じたら早めに行動しましょう。

避難時の心得

避難するとき

ガスの元栓を閉め、タバコなどの火の始末をし、戸締りを確認しましょう。

避難時の服装

靴は運動靴、服装は長袖・長ズボンなどの安全な服を着用し、ヘルメットなどで頭を保護しましょう。

危険なところは避ける

崩れ、狭い道、がけや川のそばは避けましょう。垂れ下がった電線には触れないようにしましょう。

万が一、逃げ遅れたら

避難できないと感じたら、無理をせずに、自宅の2階や近所の高台へ避難し、救助を待ちましょう。

高齢者・子供・病人・障がい者を優先

隣近所に声をかけ複数で避難しましょう。また、お年寄りや子供などの避難に協力しましょう。

市役所などの指示に従いましょう

避難時は、あわてず、市役所や消防団の指示に従って2人以上での行動を心がけましょう。

避難時持ち出し品チェックリスト

飲料水



大人1日2リットルを目安に準備しておきましょう。

非常食



缶詰、レトルト食品、紙皿など、賞味期限をチェックしておきましょう。

懐中電灯・ラジオ



懐中電灯・携帯ラジオ (AM・FM)。予備の電池も用意してください。

救急薬品



消毒液・絆創膏・ガーゼ・包帯・胃腸薬など。

その他



現金・身分証明書のコピー・ライター・軍手・石鹸・タオル・衣類など。

すぐに持ち出せるようにリュックなどにまとめておきましょう。



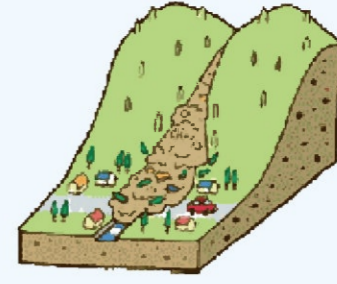
土砂災害の種類と兆候

がけ崩れ



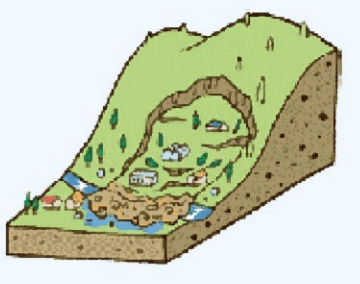
「がけ崩れ」は、傾斜が急な斜面から土砂が急に落下し、家屋や道路などを押しつぶす災害です。

土石流



「土石流」は、大量の土砂が水と共に流れ落ち、家屋や道路を押し流す災害です。

地すべり



「地すべり」は、地面全体がそのまま滑りだし、家屋や道路などを押し出す災害です。

こんな前ぶれに注意!!

- がけに亀裂が入る
- がけからの水が濁る
- 小石がバラバラ落ちてくる
- 木の根が切れる音がする

- 山鳴りや、立ち木の裂ける音、石のぶつかり合う音が聞こえる
- 降雨中に川の水位が下がる
- 川が急に濁ったり、流木が混ざる

- 水面や井戸の水が濁る
- 斜面から水が噴き出す
- 家や擁壁に亀裂が入る
- 家や擁壁、樹木や電柱が傾く

こんな所が危険です!

- がけにひび割れがある
- がけの上部がせり出している
- 急ながけで高いところ
- がけから水が噴き出している

- 谷川に大きな石があるところ
- 裏山に急な谷川があるところ
- 過去に流れた土石流が谷の出口に堆積してきた扇状地

- 地面に段差や亀裂があるところ
- 樹木や電柱が傾いているところ

土砂災害(特別)警戒区域とは

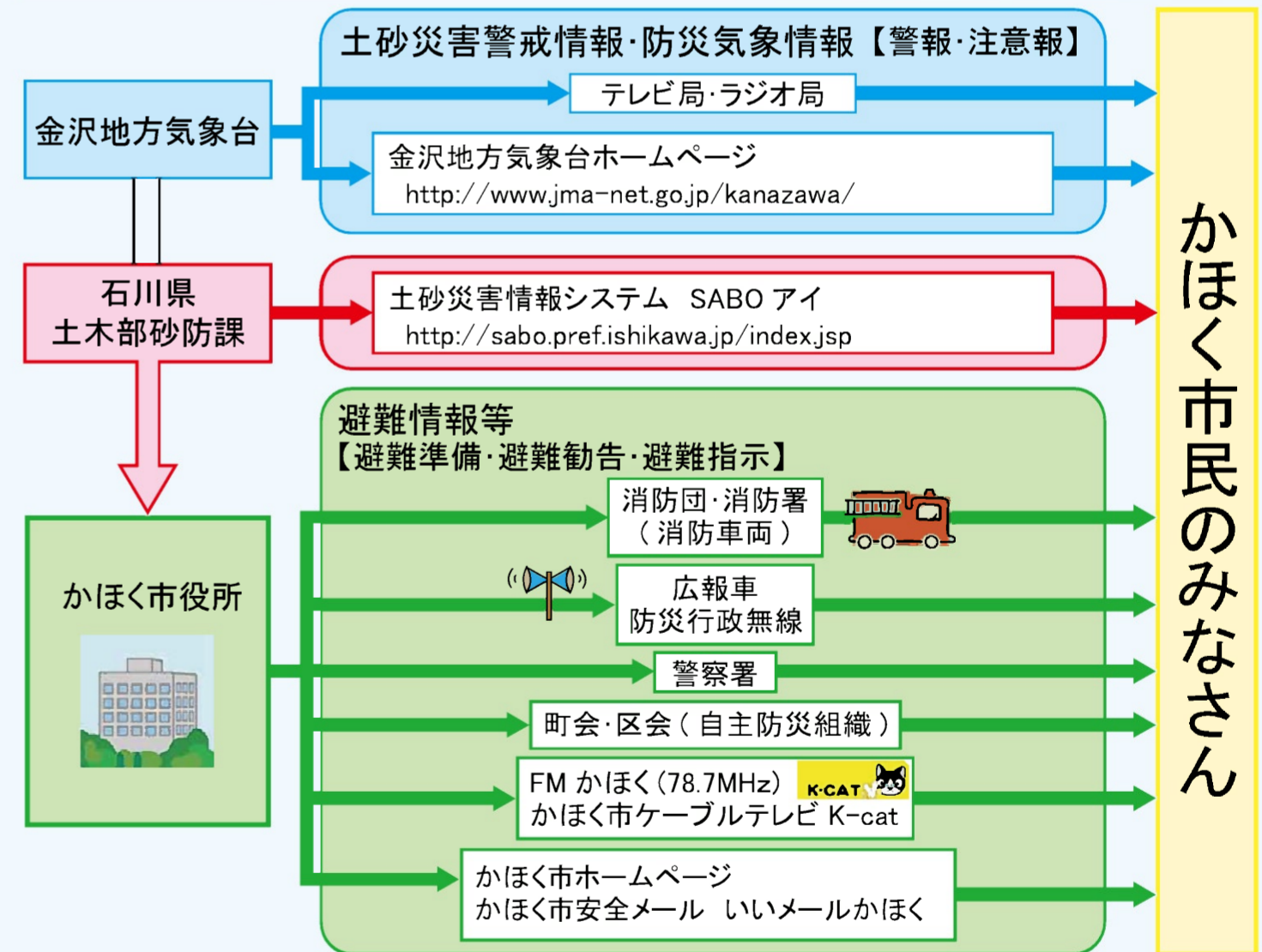
警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害等が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域

特別警戒区域(レッドゾーン)

土砂災害等が発生した場合に、建築物に破損が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域

災害情報の伝達経路



避難情報が発令されたら

